

【協議事項 2】
病床の医療機能の変更を予定している医療機関について

(1) 変更予定の概要

令和4年12月、田上記念病院から事前連絡票を提出

- ・対象施設 田上記念病院（鹿児島市）
- ・変更内容（詳細は3ページ参照）
慢性期20床を、回復期に全て移床予定

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
変更前	0	0	54 【20床】	145 【-20床】	199
変更後	0	0	74	125	199

・変更時期：令和7年4月1日

(2) 専門部会等での検討の経緯

- R 4 12月 議長，専門部会長への疑義照会
 → 全員「疑義無し」との回答
 → 各専門部会で「書面により協議すること」を決定

＜照会意見＞
 当該医療機関において慢性期病床を減少し回復期病床を増床することは、鹿児島保健医療圏において不足する回復期機能の充足に繋がることから、当専門部会として「妥当」なものとする。

R 5 1. 25 第8回回復期専門部会の書面開催

＜結果（意見提出委員7名）＞
 意見（案）については、賛成多数で承認
 （賛成7名 反対0名 未回答0名）

R 5 1. 25 第7回慢性期及び在宅医療専門部会の書面開催

＜結果（意見提出委員11名）＞
 ＜協議事項に関する賛否（意見提出委員11名）＞
 意見（案）については、賛成多数で承認
 （賛成11名 反対0名 未回答0名）

R5 3. 8 第10回部会長等会議の協議結果

田上記念病院の病床機能の変更については、慢性期病床から回復期病床への移床であり、鹿児島保健医療圏において不足する回復期機能の充足に繋がることから、当専門部会として妥当とする。

(3) 鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議意見（案）

田上記念病院の病床機能の変更については、慢性期病床から回復期病床への移床であり、鹿児島保健医療圏において不足する回復期機能の充足に繋がることから、当調整会議として妥当とする。

<参考>

「各専門部会について書面開催する場合などの取扱に関する申し合わせ」

第15回鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議(R3.8.17)の協議結果

<第15回鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議（R3. 8. 17）での決定事項>

【病床の医療機能の変更を予定している医療機関の取扱（鹿児島保健医療圏）】

「回復期又は慢性期」から「高度急性期又は急性期」，「慢性期」から「回復期」へ病床の医療機能を変更予定の医療機関について，病床数に関わらず，変更理由等の書面回答を求め，調整会議議長及び病床数が増減する医療機能の専門部会長に相談の上，疑義の有無に応じて以下により取り扱う。

- (1) 疑義のあるもの：専門部会への出席及び説明を求め，協議する。
- (2) 疑義のないもの：専門部会で書面により協議する。

なお，調整会議議長及び病床数が増減する医療機能の専門部会長のうち一人でも疑義のある場合は，「疑義のあるもの」として取り扱うこととし，該当する専門部会において協議する。

病床の医療機能の変更に関する事前連絡票

1 開設者・施設情報

開設者名	中村 浩一郎
医療機関名	医療法人 春風会 田上記念病院
郵便番号	890-0033
住所	鹿児島市西別府町1799番地
電話番号	099-282-0051
FAX番号	099-282-6600
担当者(所属・氏名)	経理課 内 紀人

2 変更内容

変更予定日	【変更理由】 ・回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟機能を持った病床のニーズが増えており、当法人でも療養病棟を転換し患者様のために提供していきたいため、慢性期病床20床を回復期病床に移床予定です。 ・現在の計画では、 <u>2023年8月に着工、2025年4月1日開業を予定しています。</u> ・ <u>2023年8月の着工前までに建物の規模に応じた回復期病床の設計を確定しなければならないため、今回事前連絡票を提出いたします。</u>
令和7年4月1日	

許可病床数

変更前 (令和3年度病床機能報告)		変更後	
一般病床	床	一般病床	床
療養病床	199床	療養病床	199床
合計	199床	合計	199床

医療機能別の病床数 (病棟単位)

変更前 (令和3年度病床機能報告)			変更後		
病棟名	医療機能	病床数	病棟名	医療機能	病床数
療養病棟	慢性期	145床	療養病棟	慢性期	125 (145-20) 床
回復期病棟	回復期	30床	回復期病棟	回復期	50 (30+20) 床
地域包括ケア病棟	回復期	24床	地域包括ケア病棟	回復期	24床
		床			床
合計	—	199床	合計	—	199床

※ 医療機能：高度急性期，急性期，回復期，慢性期